

岸和田の子どもたちに 確かな学力を！

このリーフレットは、岸和田市内の各学校で、どのようなことを大切にして授業を行っているか、また、各校での取組みにより、子どもたちの自尊感情や自己有用感をどのように高めようとしているかなど、そのポイントをまとめ、学校と家庭で共有するために作成したものです。

学校生活の主役は、子どもたちです。教員は子どもたちの支援者として子どもたち一人一人の確かな学びと、健全な成長のために、よりよい教育活動に取り組んでいます。そのような学校の取組みとご家庭での温かい言葉がけ、見守りや励ましが未来にはばたこうとする子どもたちのエネルギーになると考えています。学校と家庭が手をたずさえ、未来の岸和田市を担う人づくりについてともに考えることができると願っています。

令和5年8月

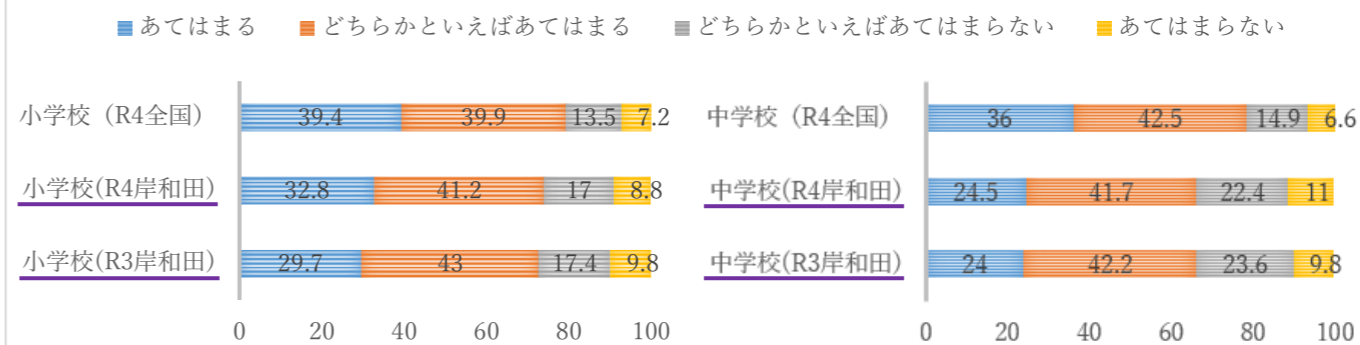
岸和田市教育委員会



全国学力・学習状況調査 質問紙より

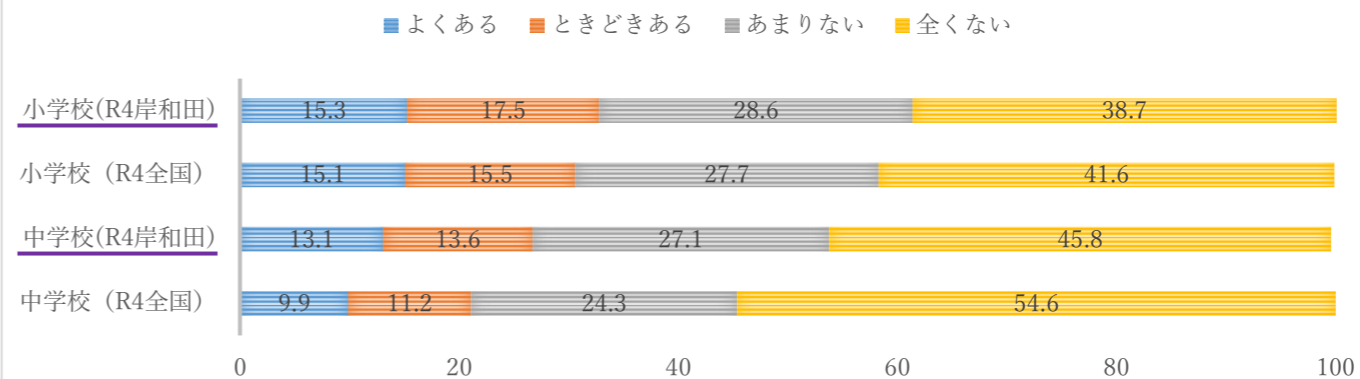
対象：小学校6年生
中学校3年生
単位（%）

Q自分には、よいところがあると思いますか



令和4年度の「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に「あてはまる」と回答した割合は、小中学校ともに全国より低いものの、令和3年度からは、小学校では2.9ポイント、中学校では0.5ポイント向上しています。これは、学校や地域、家庭のなかで子どもたちが認められたり、ほめられたりする機会が増え、そのことが結果につながっていると考えられます。

Q地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事の先生は除く）



令和4年度の「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか」の質問に「よくある」「ときどきある」と肯定的に回答した割合は、小中学校ともに全国より高くなっています。これは、放課後子ども教室や学校支援ボランティア、子ども会や町会などの地域の方との触れ合いが多いことによると考えられます。

2学期は、運動会や音楽会、文化祭など多くの行事が予定されています。また、地域でもだんじり祭りがあるなど、子どもが大人と関わる機会がたくさんあります。この機会に学校や地域でのでき事について家庭で会話することで、子どものがんばりを知ることができます。家族や大人が、子どもたちと関わり、がんばりを認めていくこと、ほめていくことが自尊感情や自己有用感の高まりにつながると考えられます。

岸和田市では、「学びの土台づくり推進事業」を令和3年度から実施しています。
 「コグトレ」を活用して認知機能を高めることで、学習の土台となる力をつけ、自信を持って学習に取り組める子どもたちを育てることができます。
 令和5年度は、幼稚園・小中学校の29校園で実施しています。



園児たちも、
がんばっています！

小中学校では、タブレットを使って取り組んでいます。



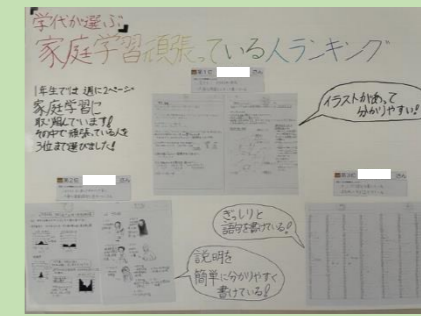
学びの土台づくり

自主学习ノートの取組みを各学校で進めています。自分で課題を設定して丁寧に取り組むなど、頑張った子どもたちのノートを廊下に掲示したり、すばらしい取組みをした子どもを表彰したりするなど、子どもを認め、やる気につながるように各学校で工夫をしています。



掲示されたノートはお手本に。「次は自分もやってみよう！」という声も聞こえます。

家庭学習の充実へ



ある中学校の生徒会では、すばらしい自主学习ノートを掲示して紹介しています。自分が関心をもっている事柄を調べ、まとめたりする「探究ノート」に取り組んでいる学校もあります。



令和5年度4月に、家庭学習の充実に向けて、「自分磨きの達人へ(小学生用)」「未来へのワン・ステップ(中学生用)」を配付しました。下記の二次元コードからもご覧いただけます。

6年生に使い方を
教えてもらったよ！



一人一台端末を活用した授業・読書活動の充実へ

GIGA スクール構想により配備された一人一台端末を活用した授業が進められています。子どもたちが発達段階に応じて情報活用スキルを身に付けられるよう、様々な学習や活動の中で活用しています。



子どもたちが言語能力を身に付けるためには、読書活動が不可欠です。学校司書を各学校に配置し、様々な本との出会いの場を提供しています。



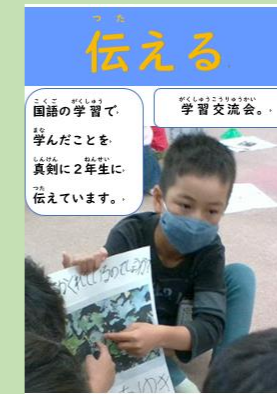
様々な書物やインターネットなどから情報を「集める」「分析する」「まとめる」、まとめたことを「表現する」などの活動を大切にした授業を行っています。



~確かな学びへ~

子ども一人ひとりが生き生きと学習に向かうために

普段の授業中で子どもたちががんばっている姿を、先生方が校内に掲示して紹介しています。「認められる」ことで、自信をもって学習や活動に取り組むことにつながります。



ソーシャルスキル・トレーニング等を活用した子ども同士の関係づくりを進めることで、安心して学習できる集団づくりに取り組んでいる学校があります。



放課後に学習する時間を設けて、これまでの復習やもっとできるようになりたいと思う学習などに取り組んでいます。

